



北の台小学校の児童との交流は続く

1年生の「紙飛行機作り」に協力

1年生が10月21日(水)の第3・4校時を使って“昔から伝わる遊びをしよう”の授業の一環として「紙飛行機作り」に挑戦しました。

当日は1年生3クラスの87名が体育館へ集まり、大上地区社協の市ノ澤会長と岩月・松平・峯下の3理事が先生と共に指導役としてクラスごとに分かれて紙飛行機作りに協力。児童たちは、生き生きとして紙で飛行機を作り、早速に体育館内で自作の飛行機を飛ばして昔からの遊びを楽しんでいました。



自作の紙飛行機を飛ばして楽しむ1年生

1・3・5年生の「学年発表会」に招待される

同校恒例の学年発表会は、6月の2・4・6年生に続いて11月13日(金)午前9時から1・3・5年生が発表しました

当日は、全校児童474名が体育館に集まり、保護者や近隣の皆さんと共に大上地区社協の下校見守り会員も招待されて7名が出席。始めに全校児童が「まっかな秋」を合唱した後、1年生87名による合奏「威風堂々」と合唱「トゥモロー」が発表され、続いて3年生87名の神秘的な演出のシュプレヒコール劇「モチモチの木」を、そして5年生85名による同校伝統の北の台太鼓「懸・嵐山太鼓より」が披露され、3学年共に日頃の練習の成果を存分に発揮した熱演に、皆さん盛んな拍手を送っていました。

最後に田中校長の講評があって発表会は終わりました。



下校見守り会員への「感謝の会」が開催される

同校の田中校長から“日ごろよりお世話になっている地域の皆様を学校にご招待し、感謝の意を表したい”という案内文書が大上地区社協にも届き、11月17日(火)に「感謝の会」が催された。

当日は、午前8時25分からの「朝の児童集会」に全校児童474名が体育館へ集まり、拍手の中を大上地区社協の見守り会員8名と夢川から5名が入場。始めに児童代表の感謝の言葉があり、続いて児童手作りの全学年のクラスごとにまとめた感謝状が両地区の代表に贈られ、児童全員が“まっかな秋”を合唱し、最後に大上地区社協からは市ノ澤会長がお礼の挨拶をもって感謝の会は終わった。

また同じ日には、深谷大上ふれあいの家の“火曜喫茶店”で催されている「戦争と当時の生活展」に3年生が2～4校時を使ってクラスごとに見学。シベリアに抑留された大上11区の及川さん(88歳)の体験談を聞くなど、当時の様子を熱心に勉強していました。



上から1年生、3年生、5年生の発表



児童代表から感謝状を受ける

1・2年生の「どんぐり工作」授業にも協力



どんぐり工作を楽しむ2年生

1年生と2年生は、生活科の授業の一環として「どんぐり工作」に挑戦しました。1年生は11月19日(木)に、2年生は11月25日(水)にクラスごとに先生が中心となり、大上地区社協の岩月理事以下会員がアシスタントとして協力。児童たちが前もって集めておいた色々などんぐりを使い、大上地区社協が準備した板に、自由な発想でどんぐりをボンドで板に糊付けして、1年生も2年生もそれぞれ個性豊かな作品に仕上げ、創作する楽しさを学んでいました。